

# 2011 AUTOBACS SUPER GT 第1戦 OKAYAMA GT 300km RACE

2011年5月21日(土)~5月22日(日)

## 予選 レポート



場所:岡山国際サーキット / 天候:くもり / コース:ドライ / 気温:26℃ / 観客動員数:8,500人

2011年 SUPER GT シリーズは、ここ岡山国際サーキットで第2戦を迎える。実質上、開幕戦の富士ではレース中のマシントラブルにより結果完走扱いにはなかったが、目標の10位以内に入る事は出来なかった。前戦から2週間という短いインターバルの中、チームは岡山に向け出来る限りの対策を施しレースに臨んだ。この日の岡山は雨は降っていないが、前日に比べ気温の低い一日となった。

### 5月21日(土)

<公式練習 / 午前9:00~10:45>

午前9時ちょうどに全車一斉にコースに入る。#62 R&D SPORT LEGACY B4も山野哲也のドライブでコースに出て行くが、未明からの雨で濡れた路面は乾ききっておらず、あくまでもチェック走行である。徐々に路面が乾き、無線で山野より「車はいい感じである」とのコメント。その後、赤旗の為、山野はピットに戻り、佐々木孝太にチェンジ、再びコースへ。チームは順調にセットアップメニューを進め、公式練習を無事終了した。



www.rdsport.net



<公式予選1回目(混走) / 午後12:30~1:10>

昼になり気温も上がってきたが、昨日程ではない。今回はノックダウン方式の予選である。40分間の混走と、10分間の占有からなるセッションで、トップ車両の107%のタイムを、2名のドライバーがクリアし、かつ16位までがQ2に進める。チームとしては混走の時間帯で出来る限り早く基準タイムを両ドライバーにクリアさせ、後は車両のセットに時間を使いたい。山

野からアタックに入り3周目1分35秒801のタイムを出し、佐々木に代わる。佐々木も基準タイムを難なくクリアし、残された時間でセットを詰めていく。

<公式予選1回目(300占有) / 午後1:10~1:20>

このセッションで16位までがQ2に進める。今回は何とかこのセッションをクリアしQ2に進みたい。今のLEGACY B4なら充分可能である。今回は佐々木がQ1を受け持つ。何とか山野につなげたい。佐々木はゆっくりとアウトラップを周り、計測1周目もタイヤを温める事に集中する。計測3周目1分33秒737、順位は11位トップは1分32秒369である。その後、タイムを上げる事は出来なかったが、結果11位でQ1を通過する。

<公式予選2回目 / 午後3:00~15:10>

上位10台が Q3に進める。今度は山野がアタックする。計測1周目を終えたところで他車のスピンで赤旗中断となる。コースクリアーと同時に再度アタックに出るが、1分34秒402、14番のタイムである。その後、アタックを続けるがタイムを上げる事が出来ない。結果順位を上げる事が出来ずQ3への目標は断たれた。なお、ポールポジションは、500クラスは#17 KEIHIN HSV-010、300クラスは#11 JIMGAINER DIXCEL DUNLOP 458となった。

■本島監督コメント



Q2を通過出来なかった事が残念ですがドライバーは充分頑張ってくれました。またもFIA-GTに独占されてしまいましたね。明日もまたドライバーに負担を掛けてしまいそうですが、今日出来る限りの対策を行いレースに臨みたいと思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>  
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2011年5月21日  
SUBARU LEGACY B4  
TEAM アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net